

生徒指導便り

令和4年 2月

新型コロナウイルスによる「まん延防止重点措置」が3月6日まで延長となりました。毎日、熊本県の新規感染者数を確認していますが、現状が第6波の高止まりの状態となるのか、ピークアウトとなるのかは、まだ分からないようです。2月28日に卒業予定者の表彰式・卒業式予行・同窓会入会式、3月1日には卒業証書授与式があります。十分な感染対策をして無事に終わるようにみんなで努力していきましょう。

さて、話は変わりますが、2月4日～20日の日程で北京冬季オリンピックが開催されています。連日、日本勢のメダルの獲得状況など、活躍が報道されていますが、最終的にはどのような結果になるのでしょうか。皆さんの手元にこの便りが届くまでにはタイムラグがあるので分かりませんが、現在、私が個人的に楽しんでいるのは女子のカーリングです。予選のデンマーク戦の最後の1投での逆転勝利など家族そろって楽しんでいきます。カーリングは4人チームで試合しますが、5人目の選手がいます。フィフスとカリザープと、5人目の選手がいます。フィフスとカリザープというように紹介されることがありますが、他の競技の控え選手とは違った面があります。例えば、「ナイトラクトイス」という時間が設けられています。大会期間中、全試合が終わったあと、次の日に試合があるチームに設けられている練習時間です。その中でフィフスが果たす最大の仕事はストーンチェックです。カーリングのストーンは天然石からできていて、1つ1つのストーンに癖があります。同じラインに同じ強さで投げて、進む距離、曲がり具合に違いがあったりします。データをとりつつ癖を把握しておかなければ、

戦略に狂いが生じます。そのため、チームが使用する8つのストーン全てのチェックを、たいていは10分ないし15分程度の短時間で行うことが求められ、その技量が必要です。さらにフィフスは、試合中にはチームを見守り、その上での作業となるため、体力的にも負担は大きく、技量だけでなく、チームを支えたい、チームの勝利のために、という献身的な姿勢も要求されます。テレビのインタビュで、日本女子4人のメンバーは口々にフィフスである石崎琴美選手に対する感謝の言葉を述べていました。

さて、前述したとおり、卒業予定者の皆さんは3月1日には卒業証書授与式を迎えます。主役である皆さんがこれまで活躍することができたのは、カーリングのフィフスと同様、影になって支えて頂いた保護者の皆さんを始めとする家族、友人、先生方、その他多くの人たちのおかげです。この機会に、これまでの人生を振り返り、改めて「感謝」の気持ちをもって、次の新たなステージに踏み出してほしいと思います。

●注意・連絡事項●

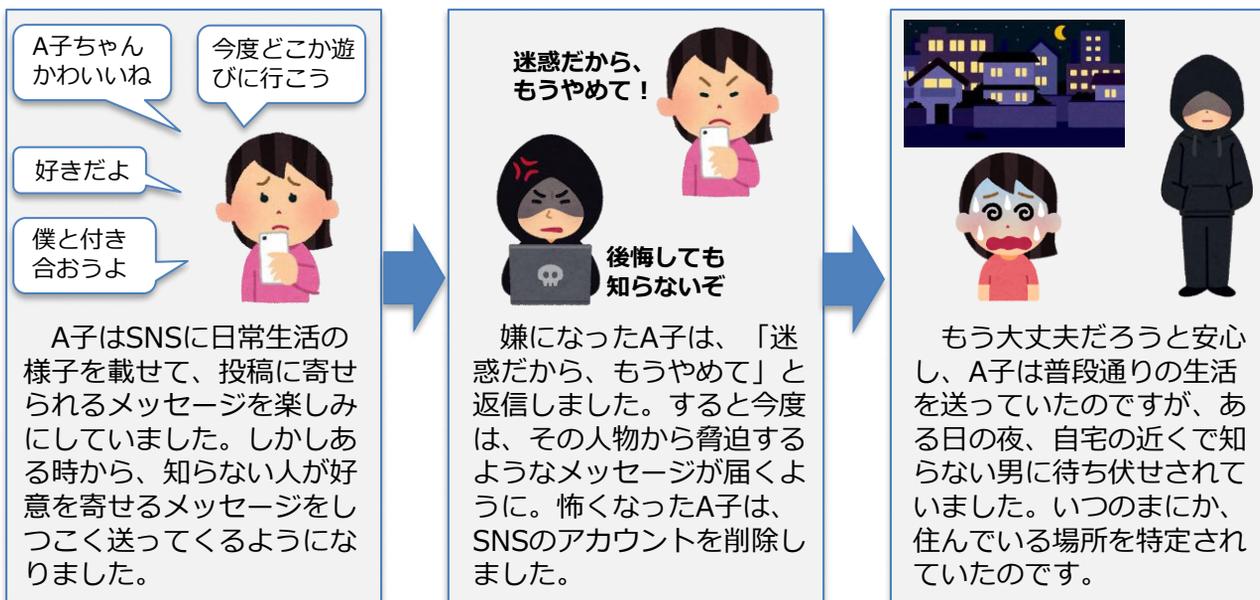
- 高校入試関係で家庭学習期間があったりなどイレギュラーな日程が続きます。生活リズムを崩さないようにしてください。
- 新規に就労を希望する場合は早めに担任の先生に相談してください。
- 生徒が発熱・体調不良の際は必ず学校（担任）に連絡をお願いします。

ネットストーカーの実態について

インターネットを使って、特定の人にしつこくつきまとう人たちのことを、ネットストーカーと言います。SNSなどのサービスが普及し、面識のない人と気軽にコミュニケーションをとったり、知らない人の日常生活の様子を垣間見たりすることができるようになった一方で、ネットストーカーによるトラブルが増加しています。

ネットストーカーの被害の例

ネットストーカーとは、具体的にどのようなことを行うのでしょうか。ここでひとつ例を紹介したいと思います。



他にも以下のような被害にあう可能性があります

- ・匿名掲示板に誹謗中傷の書き込みをされる
- ・卑猥なメッセージや画像を送りつけられる
- ・個人情報を特定され、インターネット上のさまざまなサイトに掲載される
- ・SNSなどのパスワードを特定され、アカウントを乗っ取られる
- ・自分になりすましたアカウントを作成され、不適切な書き込みをされる

ネットストーカーがストーキング行為をはじめるときっかけはさまざまです。顔写真を見て好意を抱いたことがきっかけになるケースもあれば、SNSの投稿に反感を抱き、嫌がらせ目的でストーカーをはじめるといったケースもあります。



ネットストーカーの被害にあう危険性を減らすためには、自分や友だちの個人情報をインターネットに載せないようにすることが必要です。また、もしネットストーカーの被害にあった場合は、絶対にメッセージを送り返さず、すぐに周りの大人たちに相談するよう、子どもたちに指導してください。その際、警察等に相談することを考えて、証拠として相手の書き込みを保存しておくことも重要です。